

令和8年度 第2回 学校運営協議会

第2回の学校運営協議会を8月4日（火）に、日本キャンパックホールにて開催いたしました。当日、本校は中学生と保護者を対象とする**学校説明会を開催**しましたが、委員の皆さんには説明会の様子も見ていただきながら熟議をお願いしました。また、学校側からは、熟議題に即した保護者アンケートと生徒アンケートの説明と、**館林市と明和町との連携に関する協議**の進捗状況について、説明を行いました。

◎熟議テーマ：「通いたい・通わせたい学校になるための工夫」

3つの班に分かれ、上記のテーマについて熟議を行いました。今回は、学校説明会にした生徒会役員も熟議に加わり、「学校説明会の感想」から熟議をスタートし、後半は委員のみでテーマに基づく熟議をしていただきました。

●グループ①の熟議内容

- ・中学生にとって、高校卒業後の進路先が見えると学校選択に役立つと思う。指定校などの情報はもっと説明してもよいと思う。大部分の生徒が校則に不自由を感じていないのは、生徒がしっかりしているからではないか。
- ・商工には、一度、地域から離れてしまうと就職が難しい大手企業から求人もある。進学が増加傾向とのことだが、商工にいるからこそ、就職も再検討してほしい。
- ・「いい子」が多い印象だが、「使い勝手のいい子」にならないよう、枠を取っ払うことも必要。外部講師の積極的な活用や、進学した「その先」を見通せるような取り組みや情報提供も必要だと思う。



●グループ②の熟議内容



- ・学校説明会では生徒はきちんと話せている。科ごとの説明だけでなく、生徒が楽しいと感じていること等、実際にやっていることについて伝えてもよい。
- ・4単位選択（3年次に自学科だけでなく、他学科や普通科目が選択できる仕組み）は商工独自の魅力。中学生にも保護者にも響くのでは。
- ・商工のウリは地域連携。地元で活躍するOBに協力してもらうなど、もっとPRすることが必要では。

●グループ③の熟議内容

- ・生徒は、同じ学校なのだから工業科と商業科の交流がもっとあってもよい、と感じている。工業科の生徒が作ったものを商業科の生徒が売る、といった機会や、普通教科とのコラボレーション等についても触れてみてほしい。
- ・資格について保護者と生徒では興味が違う。資格自体の説明よりは「何の役に立つのか」を説明した方が響きやすい。地域連携の取組を生かして、採用する側からの情報提供も中学生や保護者には響くように思う。
- ・昨年度に比べ、保護者の視点より中学生の視点に立った説明会になるよう改善されていた。次年度は、中学生・保護者双方が満足できるような説明会（例：2部構成等）の運営ができるよう、更なる改善を期待したい。



◎次回は「（仮）地域の課題に学校はどのように向き合ったらよいか」をテーマに10月19日（月）に第3回学校運営協議会を開催する予定です。